



与謝野町

YOSANO GIKAI

議会だより

勇壮! 子供歌舞伎



主な記事

■ 3月議会のようにす 2

■ 新年度予算 2~7
—総額202億円を、全会一致で可決—

■ 3月補正予算 8~10
—総額2.8億円追加。町債繰上償還など—

■ その他の審議案件 11~14
● 助役→副町長 ● 出産祝金条例の廃止ほか
● 「非核平和の町」宣言の決議 ● 2月臨時会—税条例の改正ほか
● 4月臨時会—議会役員改選ほか

■ 請願、意見書、陳情書 14
● 教育請願 ● 農業請願 ● 農業意見書など

■ Q&A・「加悦町議会のあゆみ」問題 15
● 男山公民館問題

■ ここが聞きたい(一般質問) 16~21
● 11人が登壇し、町長らの見解をたず

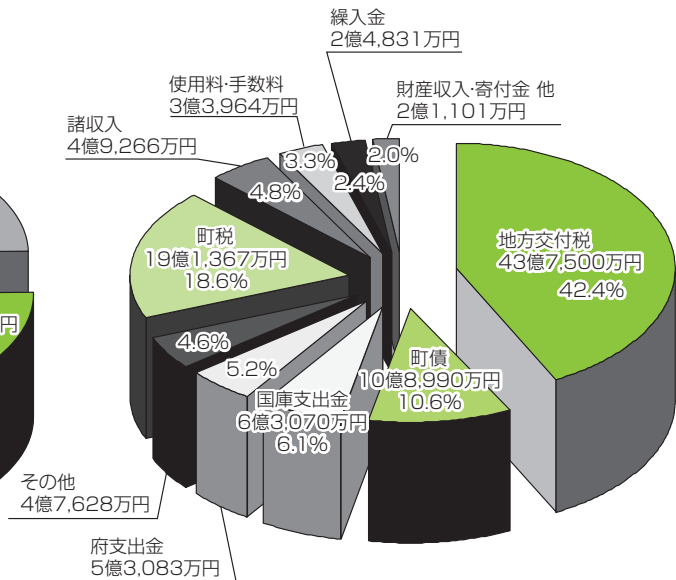
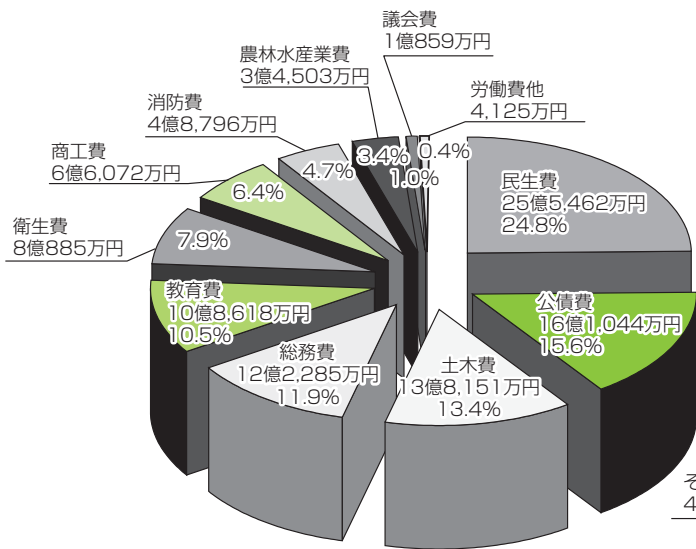
■ まちの宝 子どもページ 22
● 市場小学校 ● 与謝小学校

与謝野町の予算 全会一致で可決

総額202億円

(一般会計103億円 特別会計97億円 水道事業会計2億円)

歳出 一般会計 歳入



3月議会のおよす

2月27日に議会運営委員会が開かれ、提出議案や会期（3月6日～30日）などが協議され、それに基づき進められました。

3月議会の町長提出議案は、新年度（19年度）予算案12件、18年度補正予算8件、人事案件、条例改正など、計42件が提出され、原案どおり可決されました。議員提出議案は、請願2件（うち一件は不採択）、意見書1件、「非核・平和の町宣言」案が提出され、請願1件、意見書が採択・可決しました。

3月議会では、のべ99議員が発言し、活発な議論が交わされました。

一般質問には11人が町理事者に、新町まちづくりなどについて、見解をいただきました。

議会のおよすは、インターネットでライブ中継され、後日にKYT3ch町有線テレビで、一般質問と予算審議が放映されました（時間制限）。

また3月議会では、「加悦町議会のあゆみ」発行問題で、3度にわたり全員協議会が開かれ、旧加悦町出身議員5人が経過報告と謝罪を行ない、議会内役員を辞任しました。

4月17日には臨時議会が開かれ、議会内役員の変更や請負契約、人事案件などが審議され、原案どおり可決しました。



未来を担う子どもたちに何ができるか？

主な事業

- 総合計画等各種計画策定事業…一、一五九万円
- 住民自治活動支援事業…一、四二〇万円
- 障害者福祉施設整備事業…三、三五〇万円
- 子育て支援事業…一億〇、六一六万円
- 資源ごみストンプヤード整備事業…三、一九〇万円
- 衛生プラント施設整備事業…二、三六一万円
- 農業用施設整備事業…三、五八二万円
- 災害に強い森づくり事業…一、一九四万円
- 商工業者金融支援事業…三億七、三六〇万円
- 道路新設改良事業…三億二、八一〇万円
- 小学校施設整備事業…一億七、四九五万円

予算の 審議経過

質疑者

伊藤、森本、浪江、勢旗、家城、有吉、野村、畠山、廣野、小林、服部、多田、谷口、上山、井田、今田、赤松

19年度一般会計、特別会計の予算審議は、理事者からの提案説明を受けて、各常任委員会で審議を行いました。

本会議では、5日間にわたり、延べ59人が質疑を行い、理事者らの見解を正しました。

討論は2会派が行い、全員賛成で、原案通り可決しました。

賛成討論

小林
(与謝野クラブ)
野村
(日本共産党議員団)

財政10ヶ年計画に 沿った総合計画か

井田 義之 議員

質問 財政シミュレーションが示された。と同時に現在新町の総合計画が審議されている。

財政と計画の整合性は。

企画財政課長 現在ワー

キンググループで総合計画の作成中であるが、絵に描いた夢であってはならない。財政の可能な実現出来る夢としたい。

質問 財政の実状を皆さんに知っていただき理解(補助金のこと、応分の負担の件等)を得ることも大切と思うが。

町長 財政も生きものであり隠すつもりはないがあえて知らせる必要はない。

町道石川上山田線

質問 今後の改良計画は、建設課長 全体計画は延長360米、中員7米、

総事業費1億4000万円を予定している。今年度は1250万円の測量設計と150万円の用地費を計上している。



改良予定の町道石川上山田線

福祉優先の予算

野村 生八 議員

質問 福祉空間づくりなど、福祉の予算を積極的に確保しながら、建設事業が1割以内に抑えられ、事業にともなう起債は大幅に減る予算組みになっている。財政困難の原因は、借入金の返済額が多いことにある。今後5年間は大きく減らないので、一層新たな起債を減らす努力が必要だ。

企画財政課長 健全な財政運営に努める。

地域情報化の推進

質問 情報に関わる、仕事も予算も増えている。

情報化の設置が必要では。

町長 検討する。

学校にもっと本を

質問 一つの学校の図書費が、20万円では、余りにも少なすぎるのでは。

町長 抜本的に検討する。

教職員の増員を

質問 課題をもった子どもへの職員配置は。

教育長 新たな配置はできていない。教育現場の状況をみて、今後対応する。



大江山運動公園

三河内郷土資料室
有吉 正議員

質問 民家を借り資料の保管倉庫とされているが、町所有の他の施設に移しお返ししたらどうか。

教育長 例えば博物館等展示品目の何倍もの資料の保管場所が必要であることもご理解いただきたい。埋蔵文化財もあわせて検討していきたい。

町民グラウンド

質問 合併して三つの町民グラウンドがある。大江山運動公園の管理料がきわだって高い。使用料収入はあまりかわらない。

教育推進課長 大江山運動公園のナイター設備は公式の大会に認可されている設備であり、芝生・植込みの管理費がかかる。

町地域福祉空間整備

質問 「安心・どこでも・プラン」はノーマライゼーションを進める良い事業と思うが、作成したのは国、コンサル会社、町職員のいずれか。事業推進にあたっては、町所有施設・民間施設の利用

併せて慎重に進められたい。

福祉課長 町長の指示を受け課内の職員の手づくり。慎重に進めていく。

府未来づくり交付金

質問 長野県の市町村の追い払い犬育成事業は、県の新ルネッサンス事業・コモンズ支援金で行われている。この事業に当てはまるか。

企画財政課長

現在の府の未来づくり補助金は無理だが、今年度より地域力再生推進枠が設けられた。要綱がまだ未定だが、当てはまるかもしれない。

町長 地域力再生プロジェクトが府の音頭でもたれている。私も町村会代表で出席している。該当するかどうか聞いてみる。

へり散布の予算は

多田 正成 議員

質問 農業振興費が削減されているが、昨年並みに補助が出来るのか。

農林課長 内容的には変わらず今年も行う。

ぶ農道の舗装はどの管轄か、一般車両が良く通る。

農林課長 基本的には農林だが適応する制度がなく建設課と現在検討中。

観光振興について

質問 加悦地区には主だったすばらしい施設がリフレを中心に点在している。総合的に工芸村などを見直し、もっと賑わう仕組みを。

商工観光課長

商工観光課だけでは無く各課とも

話し合っって振興策を打ち出す。

質問 伊豆大島の椿サミットへ参加をして、町にも千年椿があり、町の木である椿をテーマに丹後ちりめんともリンクさせ、椿サミット開催と経済効果が出せないか。

町長 先ず町の木として町民が親しみ地域の方々が盛り上がりつつこそ、その気運になれば誘致も夢ではない。

町財政の

自主財源増について

小林 庸夫 議員

質問 歳入の自主的財源が26・5%。自主財源確保と増加策について問う。個々の力も勿論大事だが行政もアンテナを常に張っていただきたい。

町長 現状維持だけでも厳しいなか、出金を絞る地道な取組みが必要。自主財源確保策については考える必要あり。

町内の資産（人・モノ・地理）を考えて農業や織物業の新しい展開、業を起こすこと、また高齢化

時代の人材を生かし福祉を生かすなどし、今あるモノを嘆かず生かした中で智恵をだす。昔型企业誘致は終わったと言える。

自営業者への支援策は

質問 商工事業者への各種支援策について問う。

商工観光課長 商品開発・人材育成・創業開発など通年事業として検討する。

質問

織物産地として「きもの」PRは可能か。**商工観光課長** 商工会や近隣市町と発信計画している。今後は外向き事業に力を入れていく。



椿まつりの名物イベント「千本づき」



平成24年完成予定の阿蘇シーサイドパーク

クアハウス無料券配布を

岡山 仲枝 議員

質問 今年から無料券を廃止すると聞いたが理由は。

保健課長 合併協議の中で、新町でも実施となっていたが、「バラマキはやめるべき」とか「行きたくても行けない」との意見があり、返しに来た人もある。

質問 健康作りに役立つことを考えれば、一言でバラマキとはいえない。

保健課長 健康作りに重要な施設と認識している。別の形での利用をする。

負担増世帯が増える

質問 今年から町民税が倍増、所得税減となるが町民税だけ納める世帯は増税となる。約何世帯が住民税のみの負担か。

税務課長 人数で数百人ある。結構な数だ。

質問 収入の低い人に負担を押しつけることになる。国保税も上がるし、保育料は、非課税世帯で3才児は九千円だが、課税なら一万九千円になる。

3才児以上でも一万円の値上げ。何とかならないのか。保育料の減免申請もあるが。

福祉課長 所得の低い人に対しては対応してない。

菜の花プロジェクトを更に発展へ

勢旗 毅 議員

質問 昨今の地球温暖化からくる異常気象は誰も疑うことができない。菜の花プロジェクトから

使ってバイオ燃料として使われているが、NPOではこれらの活動が評価され、六月には首相官邸で表彰を受けられると聞いているが。

町長 地球温暖化は大きな問題。京都議定書にもあるように京都から情報発信する必要、行政でなくNPOでの取り組みに意義がある。給食センターに限らず、衛生プラントでも研究したい。

持続可能な

行財政基盤の確立を

森本 敏軌 議員

質問 平成19年度は与謝野町として本格的なスタートの年となるが、税源移譲があるものの、普通交付税や包括支援措置の減少など厳しい財政状況で、合併して2年目を迎え、合併支援措置のある間に持続可能な行財政基盤の確立が図りたい。

町長 今後10年間の総合計画を立てる中で、財政を早く安定させることが持続可能な町づくりを進めていく上で大事なこと。合併優遇措置があるなかで本当に必要なものが何か見極め、10年20年先の財政を見ていく事が大事。

情報共有化の方向は
質問 情報の共有化は一体感の醸成に不可欠、現段階での共有化の方向は。

企画財政課長 加悦の有線テレビを無線ランで全線的に広げることができないか実証実験の申請をしたが、競争が激しく、採択されなかった。ここに来て一から仕切り直す必要があるができた。

教育の一体的取組みを

合併に伴い教育面

質問 合併に伴い教育面において、与謝野町の生徒である認識と、一体感の醸成や、学校間格差解消に取組まれない。

教育長 本年度から陸上記録会、音楽フェスティバルなど一体的に実施する、教育条件、環境格差は埋めていきたい。

本当にできるのか

職員50名削減

谷口 忠弘 議員

質問 50名の削減が可能なのか、今年の退職者も含め今後4年間の状況は。

総務課長 現時点で今後4年間で退職を迎えられる方は、30名であります。

質問 町長のマニフェスト実現に向けての可能性。
町長 自然減を待っていない。事業全般を見直していく。

質問 時差勤務体制を導入し時間外手当の削減を。
総務課長 すでに導入しており、きりつめている。



つつじの花ことばは「節制・情熱」

予算に産業振興策が
見えない

服部 博和 議員

質問 我町は府下一所得が低い。産業振興が望まれるのに姿が見えない。

商工観光課長 新しい施策が無いのは認める。努力目標を作ってがんばる。

質問 町の融資制度を何故廃止したのか。

商工観光課長 府の制度活用を支援して行きたい。

フラテックへの対応は

質問 桑飼地区に環境を守る会が設立された。測定値等の開示要求に応じるつもりはあるか。

住民環境課長 協力する。

質問 排水が側溝に流れている。下水道の延長が出来ないか。

下水道課長 19年度初頭に対応する。

質問 工場用地を整備し集約する必要がある。

商工観光課長 予定地を調査する。

加悦「三」収集委託は

質問 契約時に価格交渉は充分行ったか。

住民環境課長 合特法の



工芸の里に福祉施設？

関係がありこれで最後にする事で了解した。

質問 悪法も遵守しなければならぬのが残念だ。他に依頼出来る事が多くあったはずだ。

住民環境課長 ……

こだわれ工芸の里を

質問 工芸の里に福祉施設が予定されているのか。

福祉課長 工房として使用されていた物が売却されるので町で買い取り福祉施設として使いたい。

質問 崇高な理念の元に計画された里だ。工芸に徹底的にこだわるべきだ。

商工観光課長 売れ残りの四区画はその様にしたい。

質問 この物件は福祉施設にしたい。

町政懇談会の声、
浪江 郁雄 議員

質問 昨年行われた町政懇談会での要望や提案が、予算に反映された所は。

町長 地域交通のあり方の検討。福祉プランの作成。情報の共有化に向けた取り組みなど。

質問 公的資金繰り上げ返済

質問 高金利の公的資金

が、条件付で補償金なしの繰り上げ償還出来るが。

企画財政課長 対象となる起債は、1億900万円だが、資金調達、償還間近などを考えると、効果は疑問。

財源の構成比率の今後

質問 自主財源が増え、依存財源との比率が逆転要因と今後の推移は。

企画財政課長 税源移譲と、基金からの繰入金が増えた。今後は、推移する事なく進むと思われる。

平林キャンプ場の有効活用を
家城 功 議員

質問 平林キャンプ場は、施設も充実している。もっと有効に活用すべき。

商工観光課長 条例改正も含め、収益の得られる施設として検討する。

販路開拓にも支援を

質問 商業支援は、受ける側のニーズに対応すべきで、今までにあまり無かった販路開拓の分野でも取り組むべき。

商工観光課長 商業活性



収益を得る運営を！

化は京都府の補助もある。有効的な活用を大いにしていたら良かったと考える。

どうなるひまわり事業

質問 8年目を迎えるこの事業の新たな取り組みや内容等に変化はあるのか。

商工観光課長 新しい町での新しい組織を立ち上げ各分野で特色あるものにしたと考えている。

質問 観光事業の位置付けを明確にし、町のシンボルとして、こだわりを持ち取り組むべきでは。たとえば、駅やバス停のベンチをひまわりの形にするとか、町の入り口に大きな看板を立てるとか。

企画財政課長 4月から新たな体制で、今までの反省も踏まえ、工夫しながら、できる限りの情報収集と発信に努める。

町長 広報担当を増やし、より一層の充実を図りたいと考えている。

町長 そういった事も踏まえ、町には椿もシンボルとしてある。町民が先ず家庭でも花や木を育てるところから始めたい。

地域情報発信の充実を

質問 地域情報の発信は、町の今を伝える大切な役割である。有効的な連携をとり、小さなことでも多くの人に発信すべき。

企画財政課長 4月から新たな体制で、今までの反省も踏まえ、工夫しながら、できる限りの情報収集と発信に努める。

町長 広報担当を増やし、より一層の充実を図りたいと考えている。

地方財源対策の 税源移譲は都市優遇

伊藤 幸男 議員

質問 国は税源移譲と言
うが、都市部中心の税配
分になるのでは？

企画財政課長 そうだ。

町の財源は減ること

質問 住民税が増えるが、
その分、地方交付税が減
ることになるのでは？

企画財政課長 そうなる。

地元業者への発注を

質問 町内業者の経営は
深刻だ。地産地消とい
うなら、もっと業者育成に
力を入れ、地元発注をす
ることが大事だ。

総務課長 地元発注は指
導している。

賛成討論 与謝野クラブ 小林 庸夫 議員

史上最長とも言われる
好景気？の中、地方自治
体にあつては夕張市に見
られるように非常に厳し
い環境が表面化しつつあ
る。

合併一周年を迎え限ら
れた財源の中で、きめ細



にぎわう水戸谷サクラまつり

かく配された予算案であ
ると評価する。とりわけ
高齢化等に伴う地域福祉
空間整備事業構想もださ
れ、援助が必要な方々が
安心して生活する場とし
ても待たれる。

地域間格差が言われる
中で、国・府の事業も積
極的に導入され、新町の
町づくりへの期待を大き
く抱かせてくれる予算案
と評価し、賛成する。

賛成討論 日本共産党議員団 野村 生八 議員

政府は、地方の自治体
や国民には負担を増やし、

大もうけをしている人に
は減税をする「逆立ち政
治」「格差と貧困」を一
層拡大している。

また、合併2年目を迎
え、継続事業や、旧町の
違いを大切にしつつ、そ
れを統一するまちづくり
の課題が山積している。

住民のくらしと営業を
守る町政運営、予算組み
が求められているなかで、
本予算が、建設事業を1
割以内に抑え、起債の発
行を減らしていること、
福祉やくらしを守る施策
が取り組まれていること
を評価し、賛成する。

特別会計

質疑者

野村、井田、
上山、多田、
小林、勢籟、
赤松、廣野、
伊藤

財産区所有地

(岩滝は町有)の契約

井田 義之 議員

質問 所有地を公共事業
に使うとき、各地域によ
り契約内容に差異がある。

一定の調整をお願いし
てきたがその内容は。
総務課長 統一の必要性
は認識しているが、各財
産区には歴史がありまだ
手付かずである。

高齢者に負担増の
医療制度が

伊藤 幸男 議員

質問 国保税は住民に
とって最大の負担。翌年
度から、高齢者の負担増
になる後期高齢者医療制
度になる。どうなるか。

保健課長 保険料は年金
から天引きされるが、年
金が少ない方は直収とな
る。集金も町でやらなけ
ればならない。

平成19年度会計別予算

会計別	19年度総額	18年度総額	前年対比(%)	
一般会計	103億800万円	106億3,890万円	△3.1	
簡易水道特別会計	9億656万円	11億5,672万円	△21.6	
宅地造成事業特別会計	1億5,501万円	1億6,454万円	△5.8	
下水道特別会計	18億308万円	18億2,999万円	△1.5	
農業集落排水事業特別会計	6,002万円	1,931万円	210.8	
介護保険会計 特別会計	事業勘定	19億1,187万円	18億4,550万円	3.6
	サービス事業	1,691万円	878万円	92.7
土地取得特別会計	228万円	1,988万円	△88.5	
石田土地区画整理事業特別会計	3万円	3万円	0.0	
国民健康保険 特別会計	事業勘定	25億7,189万円	24億2,029万円	6.3
	直診勘定	7,741万円	9,033万円	△14.3
老人保健特別会計	22億1,969万円	21億6,770万円	2.4	
財産区特別会計	893万円	906万円	△1.5	
合計	200億4,167万円	203億7,101万円	△1.6	

水道会計

収益的収入	1億4,678万円	1億5,288万円	△4.0
収益的支出	1億6,626万円	1億6,475万円	0.9
資本的収入	2,089万円	2,125万円	△1.7
資本的支出	8,511万円	9,860万円	△13.7

※端数整理のため表内計が一致しないものがあります。

3月補正予算

一般会計・特別会計で 2億7,546万円追加

町債繰上償還…
…1億3,112万円
有線TVデジタル放送…
…2,209万円
教職員パソコン配備…
…1,500万円

● 3月の補正予算

【単位:万円】

補正予算名	補正額	累計総額	
一般会計4号	△ 2,026	108億 8,949	
簡易水道3号	3,416	11億 5,027	
下水道2号	6,435	17億 8,203	
介護保険 3号	事業勘定	2,559	18億 4,636
	サービス事業	368	510
土地取得2号	1,806	182	
国民健康 保険3号	事業勘定	7,312	26億 3,586
	診療所	3,034	7,128
老人保険2号	5,280	23億 7,630	
水道事業 会計	収益的収入	△ 167	1億 5,685
	収益的支出	△ 471	1億 6,951

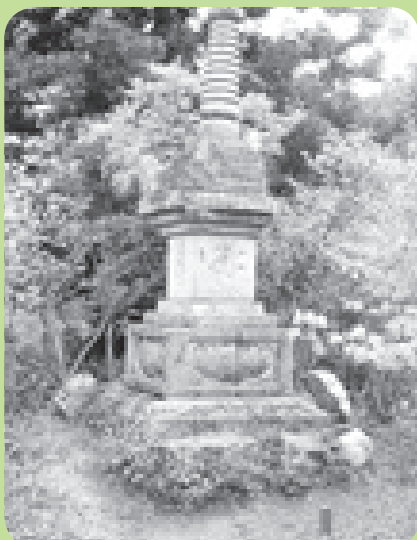
特別会計

三月議会での補正予算額は、別表のとおり。一般会計4号補正では財政難の折少しでも経費削減を計るべく高金利の町債を繰上償還する為の予算をはじめ、有線TVデジタル放送開始に向けての整備予算等々熱心な論議となりました。特別会計も含め、全員賛成で可決しました。

〔主な事業〕

(単位/万円)

テレビ電話システム	七〇	京の稲作担い手補助金	二、一八七
電算システム運営	一、六四〇	丹後縦貫林道リフレッシュ事業	八四八
有線TVデジタル放送	二、二〇九	教職員パソコン配備	七四八
北近畿タンゴ鉄道	四一五	町債繰上償還	一、五〇〇
社協補助金	一六五	文化財保護	一三、一一二
休日急診診療	一〇三	質疑	一、〇六四
わくわくぼる空調設備		森本、多田、小林、伊藤、服部、上山、浪江、畠山、野村、勢旗、谷口、井田	



雲岩公園、雲岩寺の多宝塔と仏像



待たれる完成！ 大道公園

公民館建設

負担基準の方向は

森本 敏軌 議員

質問 公民館の建替への必要な地域が多くある。男山公民館建設を契機に負担基準の議論があった。今後の方向は。

町長 以来、考えをまとめている。結論は出ていないが、一定の考えをもって進めることで整理している。

大道児童公園完成は

多田 正成 議員

質問 工事が長引いているが、いつ完成するのか。

建設課長

思ったより地盤が軟弱で一気に埋立せず沈下の様子を見ながら進めている。

質問

用地の半分が宅地になり売却してから地盤沈下がおきない様に泥を取り除いてはどうか。

建設課長

その事も含めもう少し沈下状況を見る。

質問

クアハウスの経営をどう考えているのか。

商工観光課長

18年度は利用コース別に会員募集したが結果が出なかった。今後努力する。



町の産業起し策は…

小林 庸夫 議員

け努力している現状。

直営診療所について

質問 石川直営診療所収入の大幅減額の内容は。高齢世帯の方々の医療機関への交通便利性で困っておられる人多し。

保健課長

先生の常勤ベースを元に策定したのと診療時間の短縮要因で過大見積りとなった。今後共、地域に密着したサービス提供に努める。

質問 地域の産業起しを行政として、どう真剣に考えているか。

商工観光課長 特効薬はなし。国・府の施策も情報提供し雇用創設できるような行政もできるだ

「地域バス」をまちづくりの視点で

伊藤 幸男 議員

質問 地域バス運行の住民要求は大きい。陸運局などの制約があるが、まちづくりの新しい挑戦だと思ふ。取組みの現状は。

企画財政課長

地域バスのあり方委員会の結論が3月末に出る。

雇用促進奨励は先駆的

質問 町の雇用促進奨励金制度は先駆的の事業だ。やらないと言っていた府もようやく一部だが実施に踏み切った。現状は？

商工観光課長

現時点对象人数は少ないが、貢献できていると思ふ。

消防団員の確保難しい

浪江 郁雄 議員

質問 消防団員報償費が減額。何名欠員か。

総務課長

定数383名で、欠員は、18名。

質問 遠方への勤めなどで、団員の確保が難しい。

町長 社会状況が厳しく若い方も少なく苦慮されている。女性消防隊を地

域に広げるのも手だてだ。

不法投棄防止対策を

畠山 伸枝 議員

質問 不法投棄や、家の近くの集積場へゴミを出す時のマナーが悪く、困っている人が多い。パ

住民環境課長

見回りが難しい。大規模な場合は町で対応するが、細かいものは地元でお願いしたい。



有効な計画を！ 地域バス



福祉の人材確保を

野村 生八 議員

で、資格を持った人材は必要と考えている。

質問 ヘルパーの人材確保が困難になっている。一級の講習がない、ヘルパー制度がなくなるなどの問題もあり、対応を。

福祉課長 今後、新たな福祉プランを実施するの

障害者サービスを守れ

質問 障害者自立支援法は2年後に見直しされる。児童デイサービスなどがなくなるとの不安がある。
福祉課長 利用者負担の一部を町が補助する制度を新たに作った。必要な施策は継続していただくよう、国や府に働きかける。



下がる米価！ 問われる大型機械導入

下がる米価の中での大型機械導入は

勢旗 毅 議員

質問 非常に米価が下がってきている中で、京の稲作担い手緊急支援事業はどのような団体に支援を考えられているか。

農林課長 コンバイン等

7台の機械を算所農事組合他の団体に助成予定。米価が低いことで、機械を我慢することは出来ず苦しい選択とならざるを得ない。

経費削減 3庁舎方式の今後は

谷口 忠弘 議員

質問 年間三庁舎で4000万円強の維持管理費が必要だが。

企画財政課長 行革委員会でも至急検討する必要があると言われている。

企画財政課長 将来的に職員数は230人程度に出先の職員を除けば約

150人、従って現状では一庁舎方式は無理である。
質問 町長はこの庁舎問題をどの段階でおしめしになるのか。

町長 現三庁舎を生かしたいがひとつに集約するのは難しい。又新庁舎を建てるつもりはなく、耐震補強をしていない野田川庁舎を使わず、将来は二庁舎に集約したい。

急ぐ必要有り広域ごみ処理計画

井田 義之 議員

質問 宮津市に世話になってい

る焼却施設も20年近く、老朽化している。次の計画は。
町長 2市2町の首長で協議を進めており、出来るだけ早く府の協力を得て、丹後のくくりで進める方向で一致してる。



下水道特別会計 2号補正

基金の積立

1900万円の減

井田 義之 議員

質問 12月補正で120万円積立、今回の減何故。
下水道課長 財政と協議。一般会計も厳しく、今回の減となった。



今後の重要課題！ ゴミ処理問題



その他の審議案件

2月臨時議会

去る2月6日、臨時議

会が開かれ、条例の改正2件、請負契約の変更3件が提出され、原案どおり可決しました。

条例改正

町税条例の改正

個人の町民税及び固定資産税の納期を変更し、前納報奨金を廃止する。

準備に時間がないのでは

浪江 郁雄 議員

質問 提案が遅れた大きな原因は。

税務課長 合併から業務が多忙で、改正に向けた体制が組みなかつた。

質問 周知をどう図る。

税務課長 広報誌、有線テレビ、ホームページ等を使い、理解を得ていく。

質問 具体的な効果は。

税務課長 業務の簡素化により、滞納整理に専念する体制が出来る。

質問 徴収回数が減り、一回に払う分が増えるが。

税務課長 慣れるまでの戸惑いは理解できるが、基本は納期に納めて頂きたい。

電算システムに問題は

勢旗 毅 議員

質問 前納報奨金がなくなることで、資金繰りへの影響はないか。

会計室長 歳計現金に余裕もあつて影響はないと考えている。

質問 集合徴収を廃止し

税目別徴収に切り換える背景には、電算システムの変更があるのでは。

税務課長 収納消込みに不具合があつて、手作業で補つてきた。

質問 システムの切換え時に集合徴収は大前提ではなかつたかと思うが。

総務課長 電算移行の専門チームで対応し実施してきたと聞いている。

質疑 浪江・伊藤

勢旗・井田

(賛成多数)

有線テレビ放送等

施設条例の改正

利用料前納の場合の減額措置を廃止する。

(全員賛成)

請負契約

市場簡易水道配水施設

新設工事請負契約の変更

工事内容の変更による契約金額の変更。

契約金額1億8375

万円を1億8489万円に。

(全員賛成)

市場簡易水道送・配水管

布設工事請負契約の変更

工事内容の変更による契約金額の変更。

契約金額1億1025

万円を1億1429万円に。

質疑 井田

(全員賛成)

加悦簡易水道算所浄水場

改良(土木)工事請負

契約の変更

配管工事の追加等による契約金額の変更

契約金額8242万円を、9029万円に。

質疑 井田・赤松

(賛成多数)

3月議会

人事案件

人権擁護委員

上田 章雄 氏(男山)



条例制定と改正

副町長定数条例の制定

定数は一人と定める。

(全員賛成)

地方自治法を改正する

法律の施行に伴う関係

条例の整理に関する条例

質疑 伊藤

(全員賛成)

有線テレビ放送等

施設条例の改正

ダビング料を町内者は300円、町外者は1000円とする。

質疑 井田

(全員賛成)

非常勤職員の公務災害

補償等に関する条例

(全員賛成)

特別職報酬等審議会

条例の改正

(全員賛成)

国民健康保険条例の改正

(全員賛成)



ダビング料金に格差！

加悦双峰公園条例の改正
 宿泊施設と浴場施設の
 廃止と利用料の変更。

丹後天橋立大江山

国定公園が誕生
 谷口 忠弘 議員

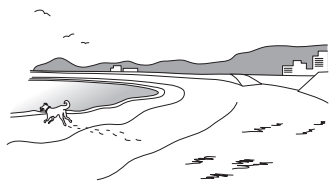
質問 双峰公園経費削減
 のため、期間限定の利用
 方法を考えては。

商工観光課長 今般の改
 正は、憩いの家と浴場施
 設の廃止で、当面はこれ
 で経緯を見守りたい。

質問 国定公園になれば。
建設課長 展望台や遊歩
 道など、施設整備の補助
 が受けられる。

質疑 谷口・勢旗
 森本・上山

(全員賛成)



国定公園に指定！ 大江山

道路占用料徴収条例の改正

新町の料金を適用させ
 るための改正。

質疑 井田

(全員賛成)

簡易水道設置条例の改正

給水人口の変更による
 改正

質疑 上山

(全員賛成)

消防委員会条例の改正

質疑 森本

(全員賛成)

条例の廃止

出産祝金支給条例の廃止

代わる支援策を示すべき

伊藤 幸男 議員
質問 かつて「福祉の加
 悦町」と呼ばれた加悦町
 で創設した制度。廃止す
 るなら、それに代わる施
 策を提案すべきでは。

町長 児童手当の増額や
 ブックススタート事業など。
 今後に具体化したい。

質疑 今田・伊藤

(賛成多数)

指定管理者の指定

与謝デイサービスセンター

社会福祉法人北星会に
 質疑 上山

(全員賛成)

与謝在宅介護支援センター

社会福祉法人北星会に
 (全員賛成)

旧加悦鉄道加悦駅舎

加悦町観光協会に
 (全員賛成)

分収造林契約

与謝財産区有林の一部

を、独立行政法人緑資源
 機構及び富山興業(株)と締
 結するもの。

造林を水源涵養をする
 ため、植林・管理を一括
 で行う。

質疑 野村・今田
 勢旗・井田

(全員賛成)

規約変更

橋立中学校組合

・宮津与謝消防組合
 ・障害者介護給付等支給
 認定審査会設置

一市二町の共同で審査
 会を設置するため。

・丹後地区広域市町村圏
 事務組合

・京都府後期高齢者医療
 広域連合

(全員賛成)

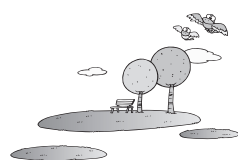
町道認定

藤の森線を延長

・小倉山線を短縮
 ・周津2号線を認定

質疑 井田

(賛成多数)



観光協会の指定管理に

4月臨時会

4月17日に4月臨時会
が開催されました。

人事構成

議会の役職及び議会構
成の変更がありました。

副議長

服部博和 議員



監査委員

有吉 正 議員



固定資産評価員

日高 勝典 税務課長
※町税務課長の充職。

4月1日より就任。

委員会構成

議会運営委員会

委員長 井田義之
副委員長 小林庸夫

今田博文
服部博和
野村生八
浪江郁雄

総務常任委員会

委員長 赤松孝一
副委員長 浪江郁雄

糸井満雄
小林庸夫
今田博文
野村生八

文教・厚生常任委員会

委員長 上山光正
副委員長 畠山伸枝

井田義之
勢籙 毅
森本敏軌
服部博和

産業・建設常任委員会

委員長 廣野安樹
副委員長 多田正成

伊藤幸男
有吉 正
谷口忠弘
家城 功

広報特別委員会

委員長 家城 功
副委員長 畠山伸枝

上山光正
小林庸夫
伊藤幸男
服部博和
浪江郁雄

一部事務組合構成

与謝野町宮津市中学校組合

糸井満雄
服部博和
畠山伸枝
井田義之
上山光正
森本敏軌

宮津与謝消防組合

糸井満雄
服部博和

廣野安樹
森本敏軌
有吉 正
赤松孝一

丹後地区広域市町村圏事務組合

糸井満雄
赤松孝一

専決処分

税条例の改正

・国民健康保険条例の改正
限度額53万円を56万円
に改める。

一般会計補正

・簡易水道特別会計補正
・下水道特別会計補正
・土地取得特別会計補正
・国保特別会計補正
質疑 勢籙・井田
伊藤

(全員賛成)

4月の補正予算

【単位:万円】

補正予算名	補正前	補正後	
一般会計5号	108億8,949	108億9,157	
特別会計	簡易水道4号	11億5,027	11億4,208
	下水道3号	17億8,203	17億7,163
	土地取得3号	182	189
	国民健康保険4号	26億3,586	26億3,267



請願一号

子どもたちにゆきとどいた教育をすすめるための教育予算増額・教育諸条件の整備・充実を求める請願書

この請願は与謝地方教職員組合（代表・宇野昭司氏）から紹介議員（野村生八・伊藤幸男）を通じて提出されたもの。

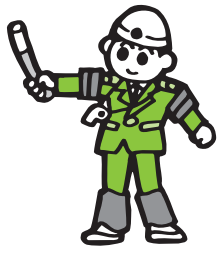
（請願の要旨）

未来を担う子どもたちの健やかな成長を願い教育予算の増額と教育諸条件の充実の取組みを請願するもの。

（審議の経過）

文教・厚生委員会へ付託され本会議での同委員会報告に対する質疑の後賛成少数のため不採択。

質疑 伊藤・野村



請願一号

日本農業に甚大な打撃を与える日豪EPA交渉の中止を求める請願

請願者は京都農民組合丹後地域センター（代表・松村統克氏）紹介議員（野村生八）。

（請願の要旨）

世界有数の農産物輸出国であるオーストラリアは米・小麦・乳製品・牛肉・砂糖など農畜産物の関税撤廃を求めており、大企業が要求する工業製品輸出に対する関税撤廃

（審議の経過）

とも関連し農業と地域社会を犠牲にすることは断じて許せない。食糧主権にもとづく貿易ルールと農業・食糧政策の確立を求めて。

一、政府は日豪EPA締結に向けた交渉を中止すること。
二、政府はFTA・EPA推進路線を転換し国内食糧自給率を向上させるための施策を強めること。

意見書

日豪EPA交渉入りにあたっての意見書

この意見書は前述の請願について産建委員会の一部文面修正され提案されたもの。

（意見書の要旨）

一、主要五品目をはじめ重要な農林水産物が除外、または再協議

産業・建設委員会へ付託され本会議での同委員会報告として趣旨採択すべきものとの報告。
質疑 今田

二、米国、カナダ等との農林水産物貿易に与える影響に充分留意すること。

三、交渉の継続について中斷も含めて厳しい判断をもって臨むこと。

質疑の後賛成多数で採択
質疑 勢旗・今田

陳情書

①国に対し 療養病床削減・廃止方針再検討と意見書提出を求める陳情書

②国に対し 06年4月診療報酬改定による「リハビリテーション」の算定日数制限の撤廃を求める陳情書

③「特定健康診査・特定保健指導」を国の責任において実施するよう求める陳情書

④後期高齢者医療制度創設に当たり患者本位

の医療機関）を求める陳情書

陳情人 京都府保険医療理事長 木村敏之

京都府後期高齢者医療広域連合会議会議員に糸井満雄氏を選出。

賛成討論 主要農業品目の関税撤廃除外を
森本敏軌議員

豪州と日本の経済連携協定EPA交渉が始まるうとしており、農産物を問わず関税をゼロにして貿易を促進しようとしている。豪州にとって日本は最大の農産物の輸出先で、豪州からの主要農産物の関税が撤廃されると国内市場の農産物は豪州産に席巻され、農業や地域経済への影響は約3兆円の減少になり、食料自給率も40%から12%に激減し影響は計り知れない。本町もコメを中心とした農業であり大きな影響を受ける。よってコメなど主要農産物が除外になる毅然とした交渉を。

「非核・平和の町」宣言に関する決議

恒久の平和と核の廃絶は、人々の共通の想いです。

しかし、依然として核兵器の脅威は平和を、世界の命を脅かしています。

今こそ国家、文化、イデオロギーの壁を乗り越え、平和への誓いを立てることが必要です。

未来の子どもたちが穏やかに暮らせるよう、すべての命に平和の光が射すように、恒久平和の理念を掲げ、私たちのまち与謝野町は、「非核・平和の町」としてありつづけることをここに宣言します。

平成 19 年 3 月 29 日

与謝野町議会議長 糸井 満雄

以上の決議文を全会一致で、議決しました。

「加悦町議会50年のあゆみ」発行について

はじめに —お詫び—

この度は「加悦町議会50年のあゆみ」発行にあたり、町民の皆様には大変ご迷惑をお掛けしましたことを、深くお詫び申し上げます。

町民の皆様には、議員として一番大切な「信頼」を裏切る形になり、不信を抱く原因となりましたことにつきましては、今後二度と同じ失敗を繰り返さないことを、全議員で再確認したところでございます。

今後は、今日の反省を十分に生かし、残されました任期を議員として責任をもって、日々活動することをお約束し、お詫びとさせていただきます。

議長 糸井満雄

「加悦町議会50年のあゆみ」発行問題について

〔発行経過〕

- 平成17年秋に、加悦町議会で「議会のあゆみ」議会誌を出すこと、議会運営委員会で合意。同年12月議会の補正予算で同誌の発行が決まる。議運（委員長：伊藤幸男）で編集発行することを確認。
- 平成18年正月明けから編集作業にかかる～52年間の議会資料や、議員、町長、元議長らの原稿集めなど…。
- 同年2月26日、合併に伴う会計処理のために、**同誌が完成していないのに、支払いを済ませた。**
- 同年3月1日、3町が合併し、与謝野町が誕生。4月16日に新町議会議員が誕生。
- 同年9月、新町議会の決算審議で、**旧加悦町出身議員5人は同誌の未発行を知りながら、その重大な問題意識が持たず、報告をしなかった。**新町議会では決算を認定した。
- 翌19年2月、同誌の原稿を元加悦町議員に配布し、最終校正を要請した。
- 同年3月議会の全員協議会（3回）～同誌発行問題で不適正な会計処理と未報告が厳しく指摘され、旧加悦町出身議員5人が謝罪。全協では、今後の対応と発行は町理事者と同5人で協議することになる。
- 4月2日、旧加悦町議員の会議を開き、発行問題を協議。4月17日、旧加悦町出身議員5人が、**この責任をとり、議会内役職を辞任した。**
- 4月25日、旧加悦町全戸に議会誌「加悦町議会50年のあゆみ」を配布した。

同誌発行の遅れについて（お詫び）

春暖の候、町民の皆様には益々のご健勝のこととお喜び申し上げます。

加悦町議会誌「加悦町議会のあゆみ」は、昨年3月合併で与謝野町が誕生するにあたり、旧加悦町議会50年の記録を後世に残そうということで、一昨年12月の旧加悦町議会で補正予算の承認を受け、作成したものであります。

合併までに完成させようという関係者で必死に取り組みましたが、結果、3月合併までに間に合わず、その後も、新町まちづくりに奔走している中で、作業が進まず今日に至ったものであります。

この間、新聞でも発行の遅れなどが問題とされ、また、印刷業者にも多大なご迷惑をおかけし、町内からも多くの厳しいお叱りを受けました。

一年以上を経過しても発行できなかったことは、いかなる経過・理由があったとしても我々にその責任があると考え、旧加悦町出身の議員5名は、今年4月に議会内役職を辞したところであります。

私たちは、ここにあらためて皆様へ深くお詫びを申し上げますとともに、今回の件を深く反省し、今後、与謝野町民の福祉の向上と、町の発展のために、一層議会活動に精進していく決意であります。

旧加悦町議会「議会誌」編集委員会
委員長 伊藤幸男

Q & A

この間、議会で問題になった課題や皆さんから寄せられた疑問などについて、お答えします。

「男山公民館の建設問題について」

〔建設の経過〕

- 男山公民館建設事業は、旧町から与謝野町に引き継いだ事業で、平成17年に男山区から旧町に要望が出されていたもの。旧町が同年12月に日本宝くじ協会に9000万円の事業助成を申請。
- 合併後、平成18年3月末に6000万円の助成が決定された。
- 同年6月議会の当初予算で、同公民館建設事業9100万円が可決（財源内訳は、自治宝くじ助成6000万円、公共施設建設整備基金3100万円）。
- 同年8月21日臨時議会の中で、議員から「新町では初めての公民館建設であり、建設基準が低い。地元負担が必要ではないか」など質疑が出され、「男山区に用地寄付の要請も考えていく」と町長が答弁。
- 同8月に第1回目の男山区との協議で、町側は公民館用地の寄付要請を行なった。
- その後も男山区との協議を行なった（第2回9月第3回10月、第4回12月）が、男山区評議員会・区役員会・隣組長会、さらに最終的には地縁団体の総会での承認が必要とのことであった。
- 9月議会でも、工事請負契約議案が可決されたが、その中で、用地の寄付問題などの進捗状況の質疑が出された。

〔現状〕

- 町は男山区との協議を続けているが、年末で区長交代もあり、最終的な結論に至っていない。
- 今年2月27日、地縁団体の総会で、町側から公民館建設の経過と用地寄付の要請をした。
- 今年3月20日に、男山公民館が完成。
- 現在では、公民館は完成したものの、用地寄付問題については、協議中である。

一般質問

11 議員が質問

ここが聞きたい

[質問通告の内容と質問者]

- ① 役場パート・臨職の待遇改善を問う
服部 博和 議員
- ② 合併一年、求められる行政の姿とは
家城 功 議員
- ③ 指定金融機関の見直しは
勢簀 毅 議員
- ④ 国の負担増から暮らしをどう守る
伊藤 幸男 議員
- ⑤ 少子高齢化と社会保障費のバランス
多田 正成 議員
- ⑥ 尼ヶ原の農地と三河内水源の解決策
有吉 正 議員
- ⑦ 基準を決めて、就学援助を受けやすく
畠山 伸枝 議員
- ⑧ 妊婦無料健診の回数拡大を
浪江 郁雄 議員
- ⑨ 学校統合の建設委員会を早期に
廣野 安樹 議員
- ⑩ 地域交通でまちづくり
野村 生八 議員
- ⑪ 幼・保の有り方、少子化対策のひとつ
井田 義之 議員



どんな雇用形態でもプロ意識！

役場パート・臨職の待遇改善を問う

服部 博和 議員

町長 ↓ 賃金・勤務条件等の改善・検討は必要



質問 現在当町には臨時やパートと称される正規職員以外の方を212人雇用している。職種は保育士や給食調理員、作業員等様々である。しかしこの方達は正職員と比べ待遇に格段の差がある。給与体系をはじめ、各種手当や福利厚生、その

他様々な面での格差を是正していく必要があると思う。又、合併に際しては三町の給与の均衡を図るという名目で34%も給与がカットされた部署がある。この額は生存権をも脅かす額であり、甘んじて受け入れざるを得ない境遇に哀れささえ覚える。この様な現状に対し、真摯に取り組んでいく必要があると思うが町長の所見を伺いたい。

町長 臨時職員雇用の目的が、正職員の欠員を臨時的に補助的に支えるため任用しているもので、特段の理解を賜りたい。しかし賃金その他の勤務条件の改善に向けて一定の検討は必要と思っている。

質問 保育所のパート職員に聞くと「どんな立場であれ、一生懸命働いている。」と喋っておられた。その一言が、私の心に今も強く残っている。

町長 プロ意識をもってやって頂くことは有難い。

合併一年、 求められる行政の姿とは

家城 功議員

町長 → 町民の意見を取り入れる体制づくりを目指す



質問 合併し一年が経過し、更に職員の意識改革が必要と考えるが。

- ①職員としての意識は。
- ②地域振興課の方向性は。
- ③職場内の連携体制は。

町長 ①各職員のモチベーションは高い。しかしそれを活かせる適正配置と住民と協働する姿勢づくりが必要と考える。

②合併当初の目的は一定達成できているが、町民や地域の意見も取り入れ、今後のあり方を考えたい。

③町民のなまの声を聞き職場に反映することは大切である。少しでも多くの声を聞ける体制づくりの指導に努めたい。

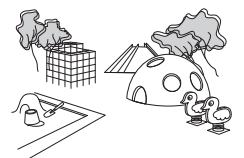
要介護者の費用軽減を

質問 介護を必要とされる方は、周りの家族も含め、体

力面や精神面、経済面でも、大変苦労されている。当町は「福祉のまち」として、最先端の政策を進めているが、公共施設の料金等、介添人の分も含め、改善すべき点はまだあるのでは。



今後の行方は？ 地域振興課



町長 見直す必要性は大いにある。しかし、お金の問題だけでなく、健康維持やリハビリ等、取り組まれる方の励みや成果につながるための支援策を、アイデアや意見を出し合い構築させたい。

指定金融機関の見直しは

勢旗 毅 議員

町長 → 京銀は全国地銀でもトップ級



質問 現在では京都府を始めほとんどの市町村が京都銀行を指定金融機関として定めている。しかし、合併によって加悦庁舎からも派遣行員が引き上げられ、旧役場に二台設置されていたATMも一台になるなど加悦支店廃止時の約束が反故にされている。併せて地域

金融機関としての役割を考えると、見直しも必要ではないか。

町長 京都市を除く全ての市町村が京都銀行を指定金融機関としている。指定金融機関は安全性、健全性の面からも引き続き京都銀行を指定していきたい。



当町の指定金融機関 一京都銀行一

工業村エリアの活用は

質問 工業村周辺エリアの活用で、新たに福祉の施設としてキー工房を含んでの構想を聞く。このエリアの活用についての構想をおたずねしたい。

町長 15年の経過の中で工業村も大きく変化してきた。一番の問題は転売禁止の特約条項がなくなったことで、このまま

では受け身の対応しか出来なくなっている。福祉施設への転用は、工業村を残しつつ敷地内での共存を図って行きたいとの思いから決断し、リフォームも含めて健康の拠点として発展させたい。

国の負担増から 暮らしをどう守る

伊藤 幸男 議員

町長 ↓ 財源がない中、共助の
体制づくりで支援する



質問 自民・公明の連立

政権の「構造改革」による大増税や社会保障の切り捨て、働く場がないなど「格差と貧困」が広がっている。この「改革」に賛成してきたのが民主党だ。国の税制改革で昨年6月に住民税が大幅に上がり、今年も増税となる。一方、空前の大儲けを続けている大企業には減税をしている。町民の暮らしをどう守るのか？

町長 地方財政削減や分

権の流れへの逆行には、国府に意見を述べていく。住民福祉は最優先課題。財源がない中、地域団体と町が共助の体制作りで支援していきたい。

地域の活性化対策は？

質問 町の地域活性化に向け、地産地消・循環型経済・持続可能なまちづくりが求められている。



春の晴天！ にぎわう雲岩つつじ祭

地元業者や農家への支援策が必要。加悦町で18倍もの投資効果があった住宅改修助成制度などを実施すべきでは。

町長 住宅改修助成は当面考えていないが、耐震などに力を入れたい。

子どもの権利条約を

質問 子どもの権利条約を生徒と全教職員に徹底させ、町の振興計画にも盛り込むべきでは。

教育長 教職員は条約の趣旨を体得し職務にあ

たっている。

少子高齢化と社会保障費のバランス

多田 正成 議員

町長 → 子育て強化策と福祉安心策の効率化を図る



質問 高齢化社会が進み

益々社会保障費がかさんでくる。一方で少子化が進み経済を支える人口が減り、収支バランスのとれない社会になっているが、当町の施策は。

町長 当町の高齢化比率

は26・5%で、国の基準を大きく上回っており、町独自の施策が迫られて



千二百年の歴史 滝の千年椿祭

いる。厳しい財政の中で自助・共助・公助のバランスを図る。

国策に合う町づくりか

質問 町づくり三法改正で国は多機能集積地策を打ち出したが、当町は町並が点在し中心的町づくりが難しい。今後どのように進めるのか。

町長 法に合わせた総合的な町づくりが必要。今後慎重に検討し総合計画にどう盛り込めるかが重要。

町民出資型公共事業を

質問 国の大幅な予算の削減策で地方財政にも影響が出ている。交付税や自主財源の減少から、財源の確保、事業費のコストダウンの観点から、公共事業への町民出資の制度を確立する考えは。

町長 この制度は行政主導で資金調達や事業に対し、住民参加意識の向上など、良い起債方法と考えるが金融機関との調整が必要。手法としては有益であり考える。

尼ヶ原の農地と三河内水源の解決策



有吉 正 議員

町長 → 三河内水道を5年計画で整備

質問 尼ヶ原は三河内水道の水源にあたり、いろいろ制約を受けてきた。その解決策と加悦奥々岩屋を結ぶ道路を。
町長 今年度から三河内水道の整備に着手。浄水場を大藪に移転し、表流水を使用せず井戸だけでまかなうので、水源に当たらなくなる。開発につ

いては、財政状況の厳しさは増大しており困難。

有害獣対策

質問 シカ・イノシシ対策に犬の活用と具現化。

町長 長野県・兵庫県の事例を研究し、京都府の指導も受けていく。

荒廃農地の解消

質問 後継者不足と厳しい農業環境で民家の隣接農地まで荒廃しようとしている。良い手だてを。

町長 全国の農村が共有する課題で、地域で良好な農地や農村環境を後世代に引き継ぐ努力が必要。荒廃防止に向けた施策を展開したい。



生かしたい!! 尼ヶ原

地域間格差と行政運営

質問 *総合庁舎へのみのちのり *行政所有資産の有効活用と売却 *既得の検証と見直し

町長 総合庁舎方式を検討する前に分庁舎方式や組織・機構の十分な検証が必要である。普通財産のリストに基づき調査中。人件費・補助金・既存施設の統廃合等大胆な見直しが必要と考えている。

基準を決めて、就学援助を受けやすく



畠山 伸枝 議員

教育長 → 基準を設けず裁量で

質問 住民税非課税の方が就学援助を受けられる基準だが、生活保護世帯の7割の収入。これでは低所得家庭は救われぬ。また、給与所得でどの程度かが示されていないため、保護者にわかりにくいのも問題。
宮津市は生活保護基準の1.3倍となっており、大

変わかりやすい。

全ての子供に教育を保障することは将来のため重要。もつと利用しやすくする考えは。

教育長 基準を設けるつもりはない。基準を設けないほうが情が伝わり、裁量の余地がある。学校の意見を尊重する。

格差を広げる学力テスト

質問 全国一斉学力テストは、学校間の競争、子どもと学校の序列化を進める点から心配。また、採点、集計を民間委託することから、個人情報がある特定の企業に流出することになり、大きな問題があるが、参加するかどうかを教育委員会で判断す

ることはできないか。

教育長 すでに申し込みを済ませており、保護者には趣旨など知らせてある。目的は児童生徒の学力を把握、分析し、教育の結果を検証し改善を図ること。個人情報遵守する契約を結んでいる。



どの子どもたちにも 教育の保障を

妊婦無料健診の回数拡大を

浪江 郁雄 議員

町長 → 前向きに検討する



質問 14回程度が望ましいとされる妊婦健診は、約12万円かかる。若い世代には大変な負担。思うように受診出来なければ異常が見つけれず、ハイリスク出産につながる。**町長** 健やかな出産には重要。出来るだけ早く、一回でも多く無料で受診して頂ける方法を考える



学校図書費の拡充を！

学校図書費の拡充を
質問 未来を担う子どもたちのために、より良い読書環境の整備が必要。学校図書標準の達成は。

町長 国の基準冊数達成は、2小学校。残り7小学校の充足率は平均87.6%。中学校は61.7%。今後、図書室の環境整備を含め、出来る限り支援したい。
消防広域化への対応
質問 広域化により、行財政の効率化、消防力の強化が期待できるが。

町長 京都府の消防広域

化推進計画が策定された後、町の対応を考える。
火災警報器の義務化
質問 住宅火災の犠牲者の7割が逃げ遅れが原因。火災をいち早く知らせる住宅用火災警報器が、消防法の改正で義務化された。町内では周知と設置が進んでいないが対策は。

町長 消防団によるチラシ配布、消防組合の積極的な普及・啓発、町のホームページには、悪質訪問販売の注意を掲載。支援が出来るか検討する。

学校統合の建設委員会を早期に

廣野 安樹 議員

町長 → 検討を進めて参りたい



質問 小規模校は親や子供が避ける様に、当町に於いても、一学年十人以上の小学校も見受けられ、旧町合併時そのままの状態できている。改築後も約30年が経過し老朽化が進んでいる。合併と同時に、多数の方々が学校の統合は、さけて通れない大きな課題

だと言う中、早期に学校統合の建設委員会を立ち上げる必要がある。行政主導でなく、地域の皆さん、PTAがこの問題を取り上げて頂き、一緒に委員会の設置を。合併特例債はこうしただ大事業に使用すべきであると思うが。

町長 行政側から統合の提案は難しい問題。様々な課題を抱えている現状を踏まえ、学識経験者や住民代表の意見を聞く場は必要と思う。

総合計画委員会での意見の踏まえ、統合建設委員会は設置の方向で検討したい。



多い？ 少ない？ 答えは仕事の結果で

教育委員会の職員減は
質問 財政厳しい中、他の部署より職員が多い、新年度を期に見直すべきだが。
教育長 取組む課題が多く今でも少ないと思う。職員の増員を願いたい。



地域交通の充実も まちづくり

地域交通でまちづくり

野村 生八 議員

町長 ↓ 方向性を検討している



質問 地域公共交通は、21世紀型のまちづくりの基本であり、理念や目標を明確にすべきで、

1、誰でも、いつでも、どこへでも、快適な移動を保障するという、住民の「交通権」を明確にする。

2、「交通基本条例」をつくり、行政の姿勢、役割を明確にする。
 3、住民が主体で取り組む、コミュニティバスとして取り組む。
 4、どの地域に暮らしているても、同じように利用できるよう、交通格差をなくす。そのためにも、乗り継ぎ自由、どこまで乗っても同じ料金にする。
 5、採算性重視でなく、公共性を重視する。などが必要ではないか。

町長 「与謝野町公共交通のあり方検討委員会」を設置し、方向性を検討しており、3月末にまとめていただける。高校生以上の住民3000人にアンケートを実施した。

与謝野町全体で住民を守る一つの方法として、まちづくりの視点として、住民の意見を聞いてすすめていく。「交通基本条例」は、権限を国がもっており、町が条例でどう関与できるか研究する。

幼・保の有り方 少子化対策のひとつ

井田 義之 議員

町長 → 子供の視点に立ち保護者の意見も踏まえ検討



質問 幼保一元化の提言をして久しいが、国・府の施策も進展してきた。

当町でも旧岩滝町を除き地域間格差がある。(時間の短い幼稚園、負担の多い保育所) 合併の今こそ、先進地例も参考に就学前の子育て環境を見直すチャンスと考えるが。

先進地例 ◎保育所保育料・幼稚園保育料(授業料) H17.4.1

階層区分	定義	徴収基準額(月額)			備考
		保育所 3歳未満	幼稚園 3歳以上	幼稚園 3歳以上	
第1階層	生活保護法による被保護世帯	0	0	0	幼稚園延長保育等 延長保育 4,000/月 おやつ代 1,000/月 学費 1,000/月
第2階層	町民税非課税世帯	6,300	4,200	0	
第3階層	町民税課税世帯	13,650		2,300	
第4階層	所得税 64,000円未満	22,500	13,000	4,500	
第5階層	所得税 64,000円以上~ 160,000円未満	32,480			
第6階層	所得税 160,000円以上~ 408,000円未満	42,700			
第7階層	所得税 408,000円以上	56,000			

(保育所制の町と、幼稚園制の町が合併した吉備中央町)

町として も残土処分には苦慮している現状であり、公共事業の推進、経費の軽減を図るため、町内で適地があれば、京都府とも協議し前向きに考えたい。

町長 安く長くの要望には応えきれない。が、親も協力していただく、民間の力も借りる、学校の統廃合も含めた中で、保護者の意見も踏まえ、一定の答を出す、委員会でそういった事を検討して欲しい。

質問 町内に残土処分場建設の改修が進んでいるが、

野田川・香河川の下流には多くの土砂が堆積している。残土処分場がなく本格的な浚渫が出来ないと聞く。
 与謝野町を水害から守る為にも、早急に残土処分場を町内に建設すべきと考えるが。

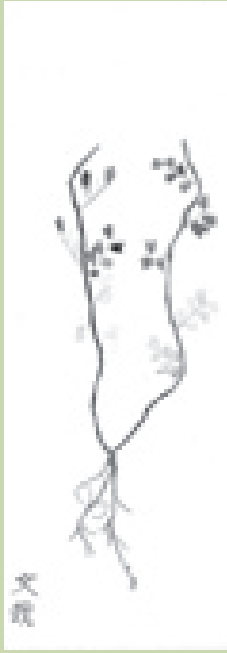
町長 旧岩滝町の残土処分場はすでに満杯であり現在公営処分場はない。

市場小学校の紹介

市場小学校では今年、44名の新1年生を迎え、全校児童252名が元気よく学校生活を送っています。昨年度より2年間「京の子ども夢・未来校(教育課題対応校)」(京都府教育委員会・与謝野町教育委員会)の指定を受け、【自ら学ぶ意欲を持ち、主体的に考え、豊かに表現する児童の育成】を目指し、研究を進めています。



■4年 増田 萌那



■4年 山本文哉



■5年 平菜那美



■5年 後藤 絵理香

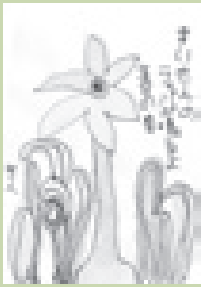


■6年 古井 菜月

まちの宝 子どもページ

与謝小学校の紹介

大江山連邦千丈ヶ岳が正面にそびえ立つ自然豊かな学校です。人間関係能力の育成をめざし、学級の話合いや集団活動などを大切にしています。特色ある学校づくりの一環として、俳句づくりに取り組み、季節感あふれる表現力が育っています。



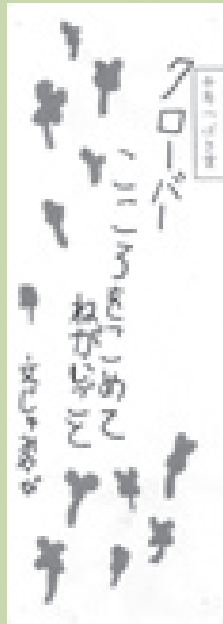
■3年 坂下 亨人



■3年 小田 幸奈



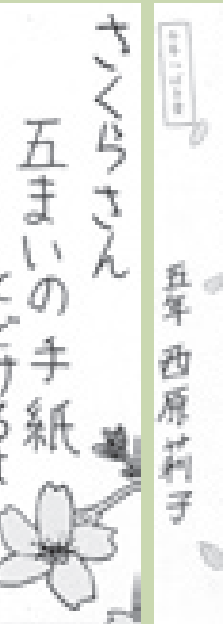
■3年 小田 玲華



■2年 文珠 みやび



■3年 川嶋 信暁



■4年 小西 映美



■5年 西原 莉子

編集後記

「筥のどんがり帽子
土を割り」

▼平成十九年度の当初予算が、実質合併後の初めての本格的予算(入りを計って出を制す)です。

▼歳入

町 税・十八・六％
地方交付税・四二・四％

▼歳出

民生費・二四・八％
衛生費・七・九％
教育費・一五・五％

▼財政状況が厳しく出産お祝い金はカット▼図書館、公民館費の減額で高齢者教室も後退など等、合併しても何も良くな

ないと聞きますが読者の生の声を聞かせて下さい

▼本号から広報委員の異動により、構成が代わり

ましたが新体制で頑張ります。

(上山)

議会広報特別委員会

委員長 家城 功
副委員長 畠山 伸枝

伊藤 幸男
小林 庸夫
服部 博和
浪江 郁雄
上山 光正